

自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部 研修カリキュラム  
Ver. 20101209



#### はじめに

当研修プログラムは将来、集中治療を専門にしたい人、あるいは集中治療の専門的なトレーニングを受けたい人のためのコースです。集中治療研修をベースに、呼吸、循環、血液浄化、代謝・栄養、感染などのサブスペシャルティーマニッシュメント研修を行い、集中治療専門医およびサブスペシャルティーマニッシュメント専門医を目指します。プログラムの特色としてエビデンスベースの世界標準の集中治療を出来るだけわかりやすく、真摯に実践していくことを目指しています。

当プログラム終了時には、下記の項目を後進に指導出来るようになることを目的としています。標準トレーニング期間としては2年程度を想定しています。

#### 目標

1. 文献検索・文献評価が出来るようになる
2. 適切なコミュニケーションが出来るようになる。
3. 適切な患者評価が出来るようになる。
4. 集中治療領域においてよく出会う疾患の標準的な治療を行うことが出来る。
5. 臨床研究を行う基礎を身につける。

具体的な目標についての詳細を下記に記します。

#### 1 文献検索・文献評価が出来るようになる

エキスパートオピニオン、症例報告、観察研究、RCT、メタアナリシスといった様々なエビデンスレベルの情報が存在しており、それぞれの情報には、限界が存在します。臨床のなかで出会う疑問を解決するために文献検索、文献の評価、実際の症例への適応の流れを通じて、文献を適切に評価する能力を育成します。この目標の達成の一助として、批判的論文吟味を行うジャーナルクラブを定期的に行います。

#### 2 適切なコミュニケーションが出来るようになる。

重症患者を主な対象とする集中治療部においては、患者、家族だけではなく、他科医師、コメディカルとも良好なコミュニケーションをとることが出来る能力が必須です。（場合によっては非常に厳しい情報を家族に伝える必要がある場面も生じます）RCTなどの横断的組織へ積極的に関与すること、あるいはM&Mカンファレンスなどの各科とのカンファレンス、コンサルテーションを通して、集中治療医としてのコミュニケーション力を育成します。

#### 3 適切な患者評価が出来るようになる。

急速に状態が変化する、あるいは全身状態に余裕がない重症患者においては、原因あるいは現在の状態に関する適切な素早い情報収集能力は重要です。多数の症例（年間900症例程度）の情報収集を行うことと、毎日のICUチーム回診での症例呈示を通じて、素早い患者評価が出来るようになることと共に状況に応じた適切な症例呈示が出来るようになることを目指します。

#### 4 集中治療領域においてよく出会う疾患の標準的な治療を行うことが出来る。

敗血症、呼吸不全など集中治療室でよく出会う疾患の標準的治療が行える、根拠を説明出来るようになることを目指すとともに、9床のICUで当直を行い夜間の急変時あるいは夜間の緊急入室時に適切に対応できるよう手技あるいは人工呼吸器、持続血液透析などの特殊治療のトレーニングも行います。

具体的な目標としては、国立大学法人集中治療部協議会による集中治療教育プログラム（日本集中治療医学会雑誌 Vol.13 No.2(2006)171-182）

[www.journalarchive.jst.go.jp/jnl/pdf.php?cdjournal=jsicm1994&cdvol=13&noissue=2&startpage=171&lang=ja&from=jnl/toc](http://www.journalarchive.jst.go.jp/jnl/pdf.php?cdjournal=jsicm1994&cdvol=13&noissue=2&startpage=171&lang=ja&from=jnl/toc)

に準拠します。

当 ICU の患者背景あるいは各レジデントの研修の背景を考慮して、他病院の ICU あるいは麻酔科、感染症科など院内、院外の専門科への 1～6 ヶ月程度の短期研修も可能です。

#### 5 臨床研究を行う基本を身につける。

文献検索・評価能力を基盤として、臨床研究の能力を養成します。標準研修期間である 2 年間の間に英文での症例報告を目指すとともに、希望者は、臨床研究の具体的な方法につき指導を受けることが可能です。

### 当施設の特徴

当施設は開心術が年間 450 件程度と、心臓外科が活発な施設です。開心術術後は、心臓外科ではなく、集中治療チームが術直後から（大動脈解離などの急性疾患の場合は、当院到着時から）ICU 退室まで管理しますので、豊富な循環器系疾患を学ぶことが出来ます。ICU 内で行われる気管切開などの侵襲的手技も週治療チームが行うので、手技的なトレーニングに関しては、2 年間で後進の指導を行うのに十分な経験をつめます。現在の集中治療部のメンバーは、麻酔科出身と内科出身のメンバーが半々程度の混成チームで、相互に知識を補完しながら診療を行っているため、知識の幅も非常に広がります。

3 ヶ月～6 ヶ月程度の短期の研修についても、随時受け入れておりますので、お気軽にお問い合わせください。

研修, 就職, 見学のお問い合わせ  
自治医科大学さいたま医療センター  
集中治療部  
塩塚潤二  
電話 048-647-2111  
mail j-shio@nifty.com